

【総務文教常任委員会】

	要望・意見	調査報告及び検討事項
1	<p><u>人件費等経費の削減について</u></p> <p>・よく人件費を削減したと言うが、一方で委託事業が増えている。その委託費には人件費が多く含まれているものも多く、本当に人件費が削減できているか、検証はしているのか。隠れた人件費がふえている気がする。また、正規職員は減少したが、臨時職員がふえている気がする。</p>	<p>・人件費総額としては削減してきており、また委託料についても、人件費の付け替えとしての委託料の増額は見受けられません。また、委託事業に関わる人件費は、委託したことにより、直営と比較して業務の質や量が変化しているため、人件費の総額が出たとしても、同じものの比較にはならず、正しい比較は大変難しくなっております。</p> <p>・臨時職員及び非常勤職員は、合併時と比較して196人増えていますが、これについても業務の内容が変化しているため、総労働時間等の正確な比較は大変難しくなっております。</p> <p>・人件費を含め、限られた財源の適正な配分については、議会としても引き続き注視してまいります。</p>
2	<p><u>災害対策について</u></p> <p>・利根川増水に備え、目安に「標高」を表示するものを地域に立ててほしい。</p>	<p>・市内には既に過去の浸水の水位を示す電柱は存在します。過去、国土交通省の事業で、市内のある地区に過去の浸水被害の浸水深を示した表示板を設置しました。また桑原地域でも、地元防災会が独自に同様の表示板を設置している地区があります。市としては、各地域の実情を鑑みて各地域の防災会などが独自に行っていただきたいと考えています。議会としては、これらの表示は防災の観点からも、積極的に推進していくべきと考えます。</p> <p>・市は現在、ハザードマップの見直しをしております。その中で浸水のおそれのある地域には水害に備えた表示を行う等、改善を求めてまいります。</p>
3	<p><u>アートギャラリーきらりについて</u></p> <p>・「きらり」の現状が残念。展示場は良いが、そこに行くまでの状況がひどい。元駐輪場のほうに人が入らないよう、ビニール紐ではなく、パネルボード等で仕切ってほしい。</p>	<p>・現在「きらり」のこの場所は借用している現状もあり、また、この建物は、区画整理事業の西口交通広場の整備の関係で取り壊される予定ですので、毎年更新となっております。そのため、照明を付けたりボードで仕切るのは困難な状況です。パネルボードで仕切るのは難しいかもしれませんが、もう少し改善を求めてまいります。</p>

4	<p><u>藝大との連携について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・藝大をもっと活用し、また藝大をもっと開放してほしい。展示作品を見たい。・藝大の情報があまり入ってこない。	<ul style="list-style-type: none">・議会では、取手市の魅力の一つが藝大と考えていますので、昨年から積極的に藝大と連絡を取り合っています。そして、藝大の持っている展示作品をオープンにできないか働きかけもしてきています。今後も藝大と連絡を取りながら、取手の大きな魅力になるよう、議会として働きかけていきます。・また、藝大の中にある食堂は一般の人でも食事ができるようになりましたので、食堂がオープンしている時には、入り口に看板などを出すような工夫の提案をしていきます。
---	---	---